

介護外国人人材フォーラム

「これからの外国人人材採用、リファラル採用モデル」



社会福祉法人 豊明会
事務局長補佐 長澤 徹

本日の内容

- 宮城県栗原市の紹介
- 社会福祉法人豊明会の紹介
- 外国人材採用、リファラル採用について



宮城県栗原市の紹介





- 2005年（平成17年）に10町村が合併して誕生。
- 面積：804.97平方キロメートル（宮城県最大）
- 人口約59,476人（65歳以上人口25,836人、内75歳以上人口13,966人）高齢化率43.4%

（令和7年9月30日現在）



栗原市

第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画 (令和6年度～令和8年度)

基本理念：生涯健やか ころろ豊かに
互いにいたわる まちづくり

- 基本目標：①生涯にわたる健康と生きがいづくりの推進
②地域における包括的な支援体制づくり
③認知症への支援・尊厳を守る取組の推進
④高齢者が安心して暮らせる地域づくり
⑤介護保険制度の健全かつ円滑な運営

社会福祉法人豊明会の紹介

事業概要・基本情報

法人名 社会福祉法人 豊明会

代表者 理事長 石橋 侑子

所在地 宮城県栗原市若柳武鎗藤貫沢85

平成元年 社会福祉法人豊明会 設立

平成2年 特別養護老人ホーム若藤園 開所
若柳デイサービスセンター 開所

平成15年 居宅介護支援事業所マナハウス、ヘルパーステーション秋桜 開所

平成18年 栗原市瀬峰・高清水地域包括支援センター（受託）

平成20年 特別養護老人ホーム桂葉
デイサービスセンター桂葉
居宅介護支援事業所マナハウス桂葉 開所

平成21年 障害福祉サービス事業所ふくし工房かつらっぱ 開所

平成22年 グループホーム桂葉（認知症対応型共同生活介護） 開所



事業概要・基本情報

- 平成24年 グループホーム藤の木（認知症対応型共同生活介護） 開所
- 平成27年 放課後等デイサービスほたる 開所
- 平成28年 障がい児多機能型事業所よしの 開所
障がい児多機能型事業所きぼう 障がい児（者）相談支援事業所きぼう 開所
- 平成29年 グループホームのぞみ（障がい者共同生活援助） 開所
短期入所かつらば 開所
- 令和3年 グループホームのぞみ2（障がい者共同生活援助）開所
- 令和4年 地域生活支援事業 日中一時支援事業所よしの（受託）
- 令和5年 若柳共生型デイサービスつむぎ 開所
更生保護施設 自立準備ホーム（受託）
- 令和6年 グループホームのぞみ3（障がい者共同生活援助）開所
共生型デイサービスかつらは 開所



理念

- ・利用者の自由意志を尊重し、尊厳やプライドが守られるよう配慮する(身体拘束の禁止)
- ・利用者の生活の安全と充実をはかる。
- ・楽しく安心して暮らせる家庭的な環境を提供する。



全ては地域福祉充実を目指して。



0才
～
6才

障がい児(者)多機能型
事業所きぼう
短期入所かつらば

7才
～
18才

放課後等サービスほたる
障がい児
多機能型事業所よしの
障がい児(者)多機能型
事業所きぼう

19才
～
64才

障害者福祉サービス事業所
ふくし工房かつらば
グループホームのぞみ

40才
～

特別養護老人ホーム若藤園
若柳デイサービスセンター
居宅介護支援事業所マナハウス
特別養護老人ホーム桂葉
デイサービスセンター桂葉

65才
～

栗原市瀬峰・高清水
地域包括支援センター

豊明会の使命

豊かな明るい未来に向かって

Towards
a rich and
bright future

● 身体だけではなく精神面、
社会面も含めた健康

● 善いあり方

● 幸福

全ての方の「well being」

健康、笑顔、お金、意義、心、喜び、仕事、成長、誇り、食事、住居、身体、友人、長寿、家族、自立、地位、趣味、生活、没入、かたち
在るもの、目に見えない思い、全ての方が「well being」「幸せの
全て」を「在る・求める・目指す・感じる」ことができる

私達の挑戦

「今まで」と「これから」

「今まで」の豊明会

● 介護保険サービス

入所
通所
居宅
相談
一時利用

- ・長期・短期入所
- ・通所介護
- ・居宅介護支援
- ・総合相談
- ・自立準備ホーム

● 障がい福祉サービス

入所
通所

訪問
相談
一時利用

- ・長期・短期入所
- ・生活介護
- ・就労支援B型
- ・就労移行支援
- ・放課後等デイサービス
- ・児童発達支援
- ・保育所等訪問
- ・計画相談支援
- ・日中一時支援
- ・自立準備ホーム



「これから」の豊明会

市民の皆様（地域の子供、大人、高齢者）

様々な再出発を目指す方

就労支援A型

生活困窮者

全国で生活にお困りの方、ご相談したい方

LGBTQの方

思いがけない縁、新たに出会う方

新たなつながり、ペットも一緒に生活する方

契約終了した利用者の家族、関係者の方

人材不足解消とコスト削減(効率化)策について

法人の課題

- ①平成20年頃からは離職率が高い状態が続いたが、徐々に離職率も低下すると同時に採用人数も減少し時間外勤務や夜勤回数が増えるなど職員に負担が増えていた。
- ②平成24年頃から介護職員、資格保有の専門職の採用が非常に困難になり、平成30年頃には求人への応募がかなり少なく、採用が非常に困難になった。
- ③令和元年頃から離職率は低下したが、家庭都合や休暇（病休、産休）、自己都合の退職者は一定数おり、採用者数を退職者数が上回り、事業所の運営にも支障が出る事態になった。
- ④生産性向上の為、業務改善と分業化を図った。清掃や環境整備、送迎などを業務委託し、スタッフが主たる業務に専念できる取り組みや、ICT化をすすめ記録の転記解消などもすすめた。
- ⑤費用削減も徹底し、全て比較検討し良いものを安価に導入する為、OA機器（複合機、PC）オムツ、ライフライン、照明、日用品、車両、請求、記録システムなど多くへ変更し、その分を職員へ還元できるようにした。

人材不足解消とコスト削減(効率化)策について

課題抽出から実行、外国人人材採用へ

- ①平成30年頃からの情報収集、技能実習受入事業所見学、研修参加等を行い、令和2年6月に面接実施し、特定技能外国人として、1期生としてミャンマー人男性3名（20代）を内定とした。
- ②コロナ禍にて、初回の入国は令和4年6月となった。ミャンマーの男性3人用にシェアハウス、家電、家具、自転車等、生活用品を登録支援機関と一緒に準備をすすめ、入国当日から不自由なく生活できるようにした。
- ③1期生入国から現在4年目を迎え、2期生、3期生は1期生と別に2社の登録支援機関と契約し、募集人数を伝達し紹介を受けた方々面接を経て、インドネシア、ミャンマーの特定技能外国人を24人採用した。1期生は退職者0人、2期生は退職者7人、3期生は退職者0人にて現在17人在籍。
- ④1期生から3期生までの対応は同じく行い、男女別の専用シェアハウス、家具家電の提供以外は、すべて日本人スタッフと同じ待遇、対応となっている。
- ⑤男女、出身国によって業務の取得や日本語上達の差はなく、個人の意欲等にて業務習得スピードに大きな差が出ている。

人材不足解消とコスト削減(効率化)策について

「外国人人材リファラル採用」スタート

- ① 豊明会にて以前から行っていた「リファラル採用」を外国人人材の採用にも転換
- ② 豊明会にて「求める人材」を明示し、年齢、性別、国籍、経験問わず幅広く受け入れ
- ▲ ③ 1年間で在職外国人職員から5人紹介あり、2人を採用（現契約の登録支援機関に支援要請）
- ④ 日本在住の方を採用し、1人当たりの渡航費（約6万円）、支援機関の紹介料（約40万円）等が削減
- ⑤ 日本にて居住経験があるため、生活オリエンテーションなど必要事務手続きも大幅に削減（銀行口座、携帯電話、健康診断、ゴミ出しルールなど）
- ⑥ 転居、オリエンテーション、入職、就業開始まで非常にスムーズ（紹介から約8週間で就業）
- ▲ ⑦ 就業中の外国人職員の配偶者も採用、長く就労できる居住環境、体制整備も整え対応（先行投資）

ご清聴ありがとうございました



HOMEIKAI

豊かな明るい未来に向かって

社会福祉法人**豊明会**